

第 4 期観光未来戦略の検証について

1 第 4 期観光未来戦略（令和 4 年度～8 年度：5 年間）の概要

第六次鹿児島市総合計画の基本目標のひとつである「魅力にあふれ人が集う 活力あるまち」づくりを観光面から推進するための本市観光の指針として策定

(1) 基本目標

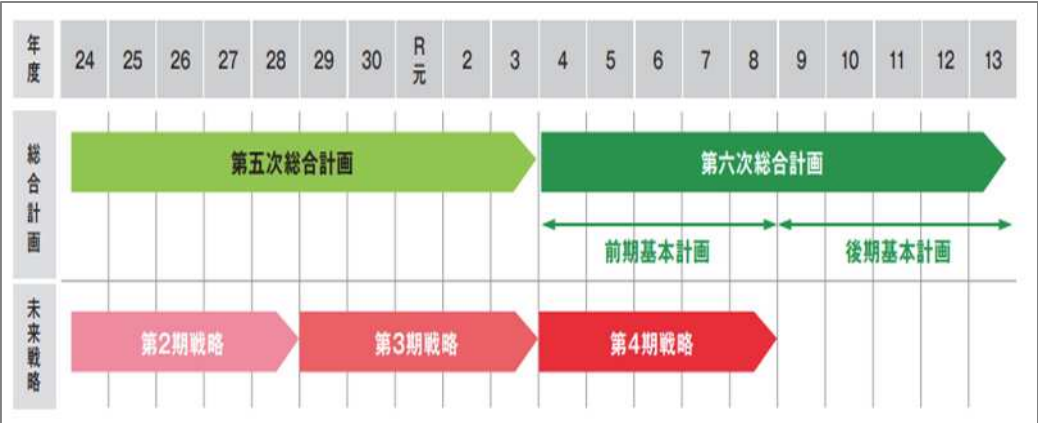
訪れる人の感動・暮らす人の幸せをつくる“稼ぐ観光”の実現
～ 世界を魅了するまち KAGOSHIMA ～

第 4 期戦略では、観光を経済対策として位置づけ、人口減少による個人手費の減少分を上回る観光消費額(経済波及効果)を生み出し、本市経済の活性化、所得・雇用増を図ることで市民一人ひとりの幸せに寄与する“稼ぐ観光”の実現を目指す。



(2) 計画期間

第六次鹿児島市総合計画前期基本計画と合わせ、計画期間は令和 4 年度から令和 8 年度までの 5 年間と設定



図表出典：第 4 期鹿児島市観光未来戦略

基本目標		基本戦略	基本方針	主な事業 ※事業名の頭の数字は対応する基本方針等の番号を指す	評価
訪れる人の感動・暮らしの幸せをつくる“稼ぐ観光”の実現 ～世界を魅了するまち KAGOSHIMA～	1 稼ぐ体制・仕組みづくり	(1) 組織体制の強化 (2) マーケティングによるニーズ把握・分析 (3) マーケティング・マネジメントに精通した高度な観光人材の育成 (4) 持続可能な観光地づくり	(1) 第4期観光未来戦略推進事業 (2) DMO推進事業 (2) 観光CRMアプリ推進事業 (3) かごしま観光未来塾設置事業 (4) 宿泊税検討事業 など	＜主な成果＞ ① 鹿児島観光コンベンション協会の地域DMOへの登録（R6.3月） ② かごしま観光未来塾での人材育成（4年間で延べ120名を輩出）等	「観光未来戦略総合会議」の設置によるPDCAサイクルの確立のほか、鹿児島観光コンベンション協会のDMO登録、「かごしま観光未来塾」における観光人材の育成、宿泊税に関する検討の実施等、「稼ぐ体制・仕組みづくり」を推進できた。
	2 オンリーワンの魅力創出	(1) キャッシュポイント(商品)づくり、高付加価値化・差別化 (2) 鹿児島ならではの多様なツーリズムの展開	(1) 桜島・錦江湾ジオパーク推進事業 (1) ナイトタイムエコノミー推進事業 (1) 西郷隆盛生誕200年・没後150年記念プロジェクト推進事業 (1) 維新ふるさと館リニューアル検討事業 (2) 特別国民体育大会等開催事業 (2) スケートボード等専用施設整備検討事業 (2) 磯ビーチハウス活用検討事業 (2) グリーンツーリズム推進事業 など	＜主な成果＞ ① 国体開催等による宿泊観光客数の増（国内宿泊観光客数は、R5年時点でコロナ禍前を上回る水準まで回復し、R6年度には過去最高であったH30年度に次ぐ水準を記録） ② にぎわいの核となる新たな施設の整備（磯ビーチハウスリニューアル、スケートボード等専用施設等）等	51年ぶりとなった「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」の開催のほか、滞在時間の延長等につながる夜間等における観光コンテンツの情報発信、9年度の西郷隆盛生誕200年・没後150年を契機にした誘客等に向けたプロジェクト推進協議会の設置や維新ふるさと館の展示物などのリニューアル、磯ビーチハウスへの民間力導入による、磯地区の活性化や交流人口の拡大等、本市の多種多様な観光資源を活用した魅力創出を推進できた。
	3 戦略的な誘客促進	(1) 戦略的なプロモーションの展開 (2) MICEによる誘客促進 (3) 観光クルーズ船の誘致・受入	(1) 国内プロモーション推進事業 (1) 大阪・関西万博を契機としたプロモーション推進事業 (1) メディアプロモーション補助金 (1) 鹿児島ファン拡大アンバサダー事業 (2) MICE推進補助金 (2) 修学旅行誘致事業 (3) クルーズ船誘致・受入事業 など	＜主な成果＞ ① R7年の鹿児島港へのクルーズ船寄港数について、過去最多の129回を記録(全国7位)等	本市ゆかりの都市等における観光PR等の実施のほか、大阪・関西万博を契機としたインバウンド誘客に向けた広域連携によるプロモーションの推進、MICEの誘致セールスや開催支援の強化に取り組む鹿児島観光コンベンション協会への助成、官民一体となつてのクルーズ船の受入や寄港地観光等の推進等、“稼ぐ観光”につながる誘客を展開できた。
	4 ホスピタリティあふれる受入体制の充実	(1) おもてなし人材の育成 (2) 世界標準の受入・案内機能の充実 (3) 新しい生活様式に対応した安心安全な観光・危機管理体制の強化	(1) 稼ぐインタープリター創出事業 (2) ユニバーサルツーリズム推進事業 (2) 地域と一体となった観光地・観光産業の高付加価値化事業 (2) 観光案内板等整備事業 (2) カゴシマシティビュー事業 (2) サクラジマイランドビュー事業 (2) 磯新駅設置促進事業 など	＜主な成果＞ ① インタープリター育成（3年間で延べ13名の通訳ガイドを育成し、25件のガイドツアーを造成） ② 宿泊施設等の高付加価値化支援（R5からR6年度で、計21施設に支援を実施）等	インバウンド誘客に向けた多言語ガイド向けの実践的な研修の実施のほか、ユニバーサルツーリズムのさらなる推進に向けた受入体制の充実、観光庁事業を活用した宿泊施設・観光施設の改修、インバウンドにも分かりやすい多言語併記の観光案内板等の設置、磯新駅設置に向けた駅前広場の整備等、誰もが安心・快適に観光できる受入体制の整備を推進できた。
	5 地域経済循環の促進	(1) 地域経済循環を高める	(1) 経済波及効果等調査事業 など	＜主な成果＞ ① イベント等における経済波及効果調査（サマーナイト大花火大会(R4・18億7,295万円)、おはら祭(R4・29億5,398万円)）	域内調達率のサンプル調査やイベント等における経済波及効果などの調査を実施し、地域経済循環の向上を図った。
	【コア・プロジェクト】 アフターコロナ・リカバリープロジェクト ～インバウンド～ 施策① インバウンド誘客に向けた魅力づくり 施策② 幅広い視点による誘客 施策③ 安心して観光できる受入環境の整備		① インバウンド観光再始動事業 ① インバウンド観光推進補助金 ② 西のゴールデンルート推進事業 ② 広域連携によるインバウンド誘客推進事業 ③ インバウンド向け飲食店等受入体制強化事業 ③ インバウンド向けフードダイバーシティ推進事業 など	＜主な成果＞ ① インバウンド向けの高付加価値体験コンテンツ造成（5商品） ② Googleでの英語情報発信支援（R6年度中に延べ218施設を対象にセミナー開催や支援を実施） ③ フードダイバーシティ推進（3年間で延べ15店舗でダイバーシティ対応のメニューを造成）	インバウンド誘客に向けた体験型コンテンツの造成のほか、「西のゴールデンルート」等による広域連携での誘客の推進、インバウンド誘客に向けた飲食店や宿泊施設等の多言語対応や情報発信の支援、ムスリムやベジタリアンなど食の多様性に対応する新メニュー開発等の伴走支援などに取り組み、プロジェクトを推進できた。

3 第4期観光未来戦略における数値目標の達成状況（※項目ごとの詳細は補足資料1 P15～P21 参照）

■ KGI (Key Goal Indicator: 最終的な目標指標)

	令和8年目標値 【A】	令和元年 (参考)	令和6年 【B】	令和7年	進捗状況 【B/A】
経済波及効果	2,200 億円	2,057 億円	1,741 億円	—	79.1%

■ KPI (Key Performance Indicator: KGI達成に向けた重要指標)

	令和8年目標値 【A】	令和元年 (参考)	令和6年 【B】	令和7年	進捗状況 【B/A】
観光消費額	1,600 億円	1,495 億円	1,235 億円	—	77.2%
宿泊観光客数	400 万人	390 万人	402 万人	—	100.5%
日本人	340 万人	340 万人	363.6 万人	—	106.9%
外国人	60 万人	50 万人	38.4 万人	—	64.0%
1人1泊あたりの観光消費額	31,000 円	28,800 円	24,100 円	—	77.7%
日本人	30,000 円	28,500 円	23,500 円	25,800 円	78.3%
外国人	33,000 円	30,700 円	30,300 円	27,400 円	91.8%
再訪の意向	100 %	60.4 %	64.8 %	73.1 %	—
推奨の意向	100 %	51.3 %	48.4 %	57.4 %	—

※令和7年の『1人1泊あたりの観光消費額、再訪の意向及び推奨の意向』（参考値）については、『令和7年度鹿児島市観光消費額調査・マーケティング分析報告書』の数値を掲載

※令和7年の実績は8年7月末、また、計画最終年（令和8年）の実績は9年7月末に本市観光統計で公表予定

※「経済波及効果」及び「観光消費額」は、小数点以下四捨五入

4 第4期観光未来戦略の総括（※補足資料1 P15 参照）

- 戦略に基づく各種事業は着実に推進されており、令和6年の宿泊観光客数が、国内観光客の下支えにより、過去最多となった平成30年（410万人）に次ぐ水準を記録したことや、再訪意向・推奨意向（令和7年）がコロナ禍前（令和元年）より高い水準を記録していることなど、国内観光客に関する指標については堅調に推移してきたと評価できる。
- 一方で、外国人宿泊観光客数や1人1泊あたりの観光消費額（日本人/外国人）はコロナ禍前の水準に届いておらず、観光消費額及び経済波及効果の拡大に向けては、更なるインバウンド誘客や高付加価値化に重点的に取り組む必要がある。

※ 再訪意向・推奨意向の目標値（100%）については再考が必要

【今後の課題】

- ・ 人口減による国内市場縮小や観光地間の競争の激化への対応
- ・ ゴールデンルートや北部九州等に集中するインバウンドの誘客に向けた取組の強化
- ・ 本市観光のストロングポイントである“飲食”等を中心に、市内のコンテンツ全般の高付加価値化の推進や、インバウンドの“コト消費”の需要に対応できる体験型コンテンツの充実

第4期観光未来戦略の検証（詳細版）

【鹿児島市 観光戦略推進課】



【目 次】

（１）第4期観光未来戦略の推進状況

- ① 基本戦略 1 稼ぐ体制・仕組みづくり
- ② 基本戦略 2 オンリーワンの魅力創出
- ③ 基本戦略 3 戦略的な誘客促進
- ④ 基本戦略 4 ホスピタリティあふれる受入体制の充実
- ⑤ 基本戦略 5 地域経済循環の促進
- ⑥ コア・プロジェクト

（２）数値目標の達成状況

- ① 総括と課題
- ② KGI/KPI項目ごとの達成状況及び評価

(1) 第4期観光未来戦略の推進状況

① 基本戦略 1 稼ぐ体制・仕組みづくり

基本戦略	基本方針	施策
1 稼ぐ体制・仕組みづくり	(1) 組織体制の強化	①官民連携のPDCAサイクルを回す体制づくり ②登録DMOの設立
	(2) マーケティングによるニーズ把握・分析	①地域マーケティング(観光CRM)によるニーズ把握・分析 ②観光消費額調査、国・県・民間の調査の活用
	(3) マーケティング・マネジメントに精通した高度な観光人材の育成	①マーケティング・マネジメントを担う高度な観光人材を育成する体制づくり
	(4) 持続可能な観光地づくり	①観光事業の多角化・新たな財源確保の検討 ②SDGsの取組の推進

■ 市の主な実施事業 ※R8年以外の予算額は、戦略期間における最終実施年度の金額を表す

第4期観光未来戦略推進事業 [R8予算額:1,857千円]

第4期観光未来戦略の着実な推進に向け、官民連携による総合会議によりPDCAサイクルを回すとともに、観光未来戦略アドバイザーを配置する。

DMO推進補助金 [R8予算額:47,388千円]

次期DMO戦略の策定や、戦略的なマーケティング等に取り組むことにより、DMOを中心とした観光地域づくりを推進する鹿児島観光コンベンション協会に対して助成する。

観光CRMアプリ推進補助金 [R8予算額:10,644千円]

観光CRMアプリを活用した地域マーケティングの強化に取り組む鹿児島観光コンベンション協会に対して助成する。

- ① 利用促進キャンペーン等の実施、加盟店支援
- ② データ収集・分析の強化 など



かごしま観光未来塾設置事業 [R8予算額:1,954千円]

マーケティング・マネジメントや観光メニューの創出等を担う高度な観光人材の育成に取り組む。



宿泊税検討事業 [R7予算額:605千円] ※R7年度のみ

持続可能な観光地づくりに向け、新たな観光財源として、宿泊税について検討を行う。

■ 取組に対する評価

「観光未来戦略総合会議」の設置によるPDCAサイクルの確立のほか、鹿児島観光コンベンション協会のDMO登録、「かごしま観光未来塾」における観光人材の育成、宿泊税に関する検討の実施等、「稼ぐ体制・仕組みづくり」を推進できた。

■ 今後の課題等

- DMOの更なる機能強化
- マーケティングレポートの充実と更なる活用
- 観光CRMアプリの効果検証
- 人口減をはじめとする、今後の市場環境の変化への対応

（参考）各団体の主な取組内容

※事業名の頭の数字は対応する基本方針の番号を指す

- (1) 登録DMOの登録【鹿児島観光コンベンション協会】
- (1) 稼げる観光地づくりを推進するための、観光地域体制強化支援【鹿児島県】
- (2) マーケティングレポートの配信【鹿児島観光コンベンション協会】
- (2) DMOによる観光消費額調査の実施【鹿児島観光コンベンション協会】
- (2) 観光CRMアプリの運用【鹿児島観光コンベンション協会】
- (3) かごしま観光アカデミーの開催【県連盟】
- (4) 日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）ロゴマーク使用承諾の取得【市・鹿児島観光コンベンション協会】 など

② 基本戦略2 オンリーワンの魅力創出

基本戦略	基本方針	施策
2 オンリーワンの 魅力創出	(1) キャッシュポイント(商品)づくり、 高付加価値化・差別化	①世界文化遺産の活用や桜島・錦江湾ジオパークの取組の推進 ②自然、歴史・文化、食、温泉などの魅力を活用した体験型観光の推進 ③海や川を生かした回遊性向上の検討 ④観光拠点の再生・高付加価値化 ⑤効果的な広域連携の推進 ⑥誘客力のある観光イベント(夜間・早朝含む)の創出・充実 ⑦観光施設の魅力づくり ⑧リバーサイドの活用検討
	(2) 鹿児島ならではの多様な ツーリズムの展開	①魅力あるスポーツコンテンツの充実 ②にぎわいの核となる施設の充実 ③グリーン・ツーリズムの推進 ④本市観光資源を生かしたニューツーリズムの推進

■ 市の主な実施事業 ※R8年以外の予算額は、戦略期間における最終実施年度の金額を表す

桜島・錦江湾ジオパーク推進事業 [R8予算額:32,009千円]

世界認定に向けて、始良市・垂水市と連携し、ジオパーク活動の充実を図る。

インバウンド観光再始動事業 [R5予算額:25,000千円]

桜島と錦江湾を生かした高付加価値観光商品の造成・販売を行う。

①E-Bike②カヤック&トレッキング③爆破体験・撮影④バーホッピング⑤おはら祭

インバウンド観光推進補助金 [R6予算額:3,500千円]

インバウンド誘客につながる観光イベントの創出や観光メニューの造成、受入体制の充実に対し助成する。

ナイトタイムエコノミー推進事業 [R6予算額:3,016千円]

インバウンド誘客や滞在時間延長等につながる夜間等における観光コンテンツの情報発信等に取り組む。

- ① ナイトタイム観光コンテンツの特集記事作成、
かごしま市観光ナビ等による情報発信
- ② ナイトタイムイベント用の照明器具購入



西郷隆盛生誕200年・没後150年記念プロジェクト推進事業 [R8予算額:36,688千円]

令和9年度の西郷隆盛生誕200年・没後150年を契機とした誘客等に向け、プロジェクト推進協議会を設置し、シンポジウムやまち歩きなど歴史・文化に触れるまちなか博覧会を開催するとともに、食のイベント等官民一体となって取組を推進する。

愛にいこう、かごしま。



維新ふるさと館リニューアル検討事業 [R8予算額:208,610千円]

施設の魅力向上及び西郷隆盛生誕200年・没後150年記念プロジェクトを見据えて、展示物等のリニューアルを実施する。



特別国民体育大会等開催事業 [R5予算額:2,669,846千円]

5年10月の「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手等の受入体制を整え、安心安全で円滑な運営に取り組むとともに、炬火リレーや関連イベントの実施などで気運を醸成し、市民総ぐるみで大会を盛り上げる。

スケートボード等専用施設整備検討事業 [R8予算額:281,521千円]

スケートボードやBMXなどアーバンスポーツを気軽に楽しむ環境を整備し、普及を図るため、スケートボード等専用施設整備の実施設計を行う。

磯ビーチハウス利活用検討事業 [R8予算額:8,949千円]

磯地区の活性化や交流人口の拡大に向け、磯ビーチハウスの通年利用を行うとともに、さらなる民間力の導入に向けた調査・検討を行う。

グリーン・ツーリズム推進事業 [R8予算額:3,663千円]

農村地域の多様な資源を生かした体験など、多彩なグリーン・ツーリズムに取り組み、都市と農村の交流や農村地域の活性化を図る。

■ 取組に対する評価

51年ぶりとなった「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」の開催のほか、9年度の西郷隆盛生誕200年・没後150年を契機にした官民連携での誘客等に向けたプロジェクト推進協議会の設置や維新ふるさと館の展示物などのリニューアル、磯ビーチハウスへの民間力導入による、磯地区の活性化や交流人口の拡大等、本市の多種多様な観光資源を活用した魅力創出を推進できた。

■ 今後の課題等

- “コト消費”の需要に応える体験型観光の充実
- “飲食”や“買い物”等、コンテンツ全般の高付加価値化の推進
- 観光客のニーズの変化への対応
(個人旅行へのシフト、ライフスタイルの多様化 等)
- 観光拠点となるエリア(桜島・磯など)の磨き上げ

(参考) 各団体の主な取組内容

※事業名の頭の数字は対応する基本方針の番号を指す

- (1) インバウンド向け体験型コンテンツの造成や販売に向けた事業者への支援【鹿児島観光コンベンション協会】
- (1) 魚類市場見学ツアーの実施【鹿児島県漁連】
- (1) ウォーターフロント及び天文館エリアのまちづくりビジョンの推進【鹿児島商工会議所】
- (1) 観光コンテンツの高付加価値化推進【鹿児島県】
- (2) 鹿児島ユナイテッドFCや「薩摩おいどんリーグ」との連携【JA鹿児島みらい、県特産品協会】
- (2) サイクルツーリズム等のニューツーリズムの推進【鹿児島県】 等

③ 基本戦略3 戦略的な誘客促進

基本戦略	基本方針	施策
3 戦略的な 誘客促進	(1) 戦略的なプロモーションの展開	①国内外からの誘客につながる効果的なプロモーションの展開 ②鹿児島ファンと連携した観光プロモーションの推進
	(2) MICEによる誘客促進	①多様なMICEの誘致・受入の推進 ②フィルムコミッションの推進
	(3) 観光クルーズ船の誘致・受入	①大型クルーズ船の誘致・受入

■ 市の主な実施事業 ※R8年以外の予算額は、戦略期間における最終実施年度の金額を表す

大阪・関西万博を契機としたプロモーション推進事業 [R7予算額:10,529千円]

大阪・関西万博を契機としたインバウンド誘客に向け、『西のゴールデンルートアライアンスによる広域連携プロモーション等を推進する。

※『西のゴールデンルート』の取組は8年度以降も「西のゴールデンルート推進事業」として継続（R8予算額：5,712千円）



新たなJAPANを開拓せよ。
西のゴールデンルート

広域連携によるインバウンド誘客推進事業 [R8予算額:4,723千円]

インバウンドの誘客に向け、熊本市など周辺の観光都市との広域連携によるプロモーション等を実施する。

メディアプロモーション補助金 [R8予算額:1,400千円]

Webを中心に各種メディアを活用した観光プロモーションに取り組む鹿児島観光コンベンション協会に対して助成する。

鹿児島ファン拡大アンバサダー事業 [R8予算額:4,147千円]

本市ゆかりのインフルエンサーによるSNSを活用したプロモーションを展開し、本市の多彩な魅力を発信することにより、鹿児島ファンの拡大を図る。



国内プロモーション推進事業 [R8予算額:5,366千円]

本市ゆかりの都市等のイベントにおいて、観光PR等を展開し、観光客のさらなる誘致を図る。

MICE推進補助金 [R8予算額:34,522千円]

MICEによる誘客促進に向け、誘致セールスや開催支援の強化に取り組む鹿児島観光コンベンション協会に対して助成する。

修学旅行誘致事業 [R8予算額:1,720千円]

関係団体等と連携し、誘致セールスを行うとともに、本市の多彩な魅力を生かした探究学習プログラムの造成を促進する。

クルーズ船誘致・受入事業 [R8予算額:31,134千円]

官民一体となって、クルーズ船の受入や寄港地観光等の推進を図る。

■ 取組に対する評価

本市ゆかりの都市等における観光PR等の実施のほか、大阪・関西万博を契機としたインバウンド誘客に向けた広域連携によるプロモーションの推進、MICEの誘致セールスや開催支援の強化に取り組む鹿児島観光コンベンション協会への助成、官民一体となつてのクルーズ船の受入や寄港地観光等の推進等、“稼ぐ観光”につながる誘客を展開できた。

■ 今後の課題等

- 国内観光地間の競争激化を意識した戦略的な誘客
- 三大都市圏や北部九州からのインバウンドの誘客
- MICEの更なる誘致
- クルーズ船寄港による経済効果の拡大

(参考) 各団体の主な取組内容

※事業名の頭の数字は対応する基本方針の番号を指す

- (1) インバウンド誘客促進に向けたデジタルプロモーションの強化【鹿児島県・県観光連盟】
- (1) 「かごしま里帰りキャンペーン」の実施【鹿児島商工会議所】
- (1) WEBを中心としたメディアプロモーションの実施【鹿児島観光コンベンション協会】
- (2) DMOによる戦略的なMICE誘致【鹿児島観光コンベンション協会】
- (2) 修学旅行の誘致【鹿児島市・鹿児島県】
- (2) フィルムコミッション活動支援【鹿児島市・鹿児島県】
- (3) 官民一体でのクルーズ船誘致【官民連携】 など

④ 基本戦略4 ホスピタリティあふれる受入体制の充実

基本戦略	基本方針	施策
4 ホスピタリティ あふれる 受入体制の 充実	(1) おもてなし人材の育成	①高いスキルの観光ガイドの育成 ②市民ぐるみのおもてなしの推進
	(2) 世界標準の受入・案内機能の充実	①観光案内機能の強化 ②多言語化など外国人対応の充実 ③食の多様性など各市場に応じた受入体制の充実 ④ユニバーサルツーリズムの推進 ⑤磯新駅設置の促進など二次交通の充実
	(3) 新しい生活様式に対応した 安心安全な観光・危機管理 体制の強化	①新型コロナウイルス感染症対策の促進 ②危機事象における観光客への対応強化 ③風評被害への対応強化

■ 市の主な実施事業 ※R8年以外の予算額は、戦略期間における最終実施年度の金額を表す

稼ぐインタープリター創出事業 [R6予算額:3,000千円]

インバウンド誘客に向け、魅力あるガイド付きツアーの造成やブラッシュアップを図るため、多言語ガイド向けの実践的な研修を実施する。

インバウンド向け飲食店等受入体制強化事業 [R6予算額:10,000千円]

インバウンド誘客に向け、飲食店や宿泊施設等の多言語対応や情報発信の支援等に取り組む。

インバウンド向けフードダイバーシティ推進事業 [R6予算額:3,000千円]

インバウンド誘客に向け、ムスリムやベジタリアンなど食の多様性に対応する新メニューの開発等を伴走支援する。



ユニバーサルツーリズム推進事業 [R8予算額:1,304千円]

ユニバーサルツーリズムのさらなる推進に向け、受入体制の充実や誘客促進に取り組む。



地域と一体となった観光地・観光産業の高付加価値化事業 [R6予算額:0千円]

観光庁事業を活用し、観光関連事業者等と連携しながら、宿泊施設・観光施設の改修、面的DXなど、地域・産業の「稼ぐ力」の回復・強化に取り組む。

観光案内所管理運営事業 [R8予算額:91,879千円]

鹿児島中央駅周辺や天文館地区の観光案内所を一体的に管理運営し、観光客の利便性の向上を図る。

仙巖園駅前広場管理事業 [R7予算額:115,777千円]

仙巖園駅開業後の磯地区の活性化や交流人口の拡大に向け、仙巖園駅前広場の整備を進めるとともに、維持管理を行う。

※R7年度予算額（広場整備時）：115,777千円



カゴシマシティビュー事業 [R7予算額:357千円]

観光客が気軽に観光地を周遊できるよう、鹿児島中央駅を発着点に市街地の主な観光地や観光施設を循環する「カゴシマシティビュー」を運行する。

サクラジマアイランドビュー事業 [R7予算額:2,285千円]

観光客が気軽に桜島を周遊できるよう、桜島港を発着点に湯之平展望所などを循環する「サクラジマアイランドビュー」を運行する。

■ 取組に対する評価

インバウンド誘客に向けた多言語ガイド向けの実践的な研修の実施のほか、ユニバーサルツーリズムのさらなる推進に向けた受入体制の充実、観光庁事業を活用した宿泊施設・観光施設の改修や面的DX、観光客の利便性の向上を図るため、インバウンドにも分かりやすい多言語併記の観光案内板等を整備や安全管理のため老朽化調査、磯新駅設置に向けた駅前広場の整備等、誰もが安心・快適に観光できる受入体制の整備を推進できた。

■ 今後の課題等

- インバウンド対応人材の不足
- 宿泊施設等の受入環境の更なる整備
- トイレ等の衛生環境の美化・改善
- 観光DXへの対応

（参考）各団体の主な取組内容

※事業名の頭の数字は対応する基本方針の番号を指す

- (1) 外国人観光客の受入体制整備【鹿児島県・鹿児島県観光連盟】
- (1) ボランティアガイドによるまち歩きの実施【鹿児島観光コンベンション協会】
- (2) 観光案内板の多言語化や景観整備、沿道修景等【鹿児島県】
- (2) インバウンド向けの多言語情報発信の強化支援【鹿児島県】
- (2) フードダイバーシティ推進【鹿児島県】
- (3) 災害に備えたBCP計画策定支援【鹿児島商工会議所】
- (3) 地域のレジリエンス強化のためのインフラ整備促進【鹿児島商工会議所】

⑤ 基本戦略 5 地域経済循環の促進

基本戦略	基本方針	施策
5 地域経済 循環の促進	(1) 地域経済循環を高める	①地消地産の促進 ②観光関連事業者及び多様な関係者の所得増 ③マイクロツーリズムの促進

■ 市の主な実施事業

経済波及効果等調査事業

地域経済循環の向上を図るため、経済波及効果等の調査などを行う。また、本市を代表する誘客力の高いイベント（サマーナイト花火大会、おはら祭、鹿児島マラソン）における経済波及効果の試算を実施した。

■ 取組に対する評価

域内調達率のサンプル調査やイベント等における経済波及効果などの調査を実施し、地域経済循環の向上を図った。

■ 今後の課題等

● 地消地産の更なる促進

（参考）各団体の主な取組内容 ※事業名の頭の数字は対応する基本方針の番号を指す

- (1) 地域伝統作物の継承(桜島地区)桜島大根・桜島小みかんの消費拡大や生産者支援活動、及びPR活動、地域軟弱野菜農家支援等【JA鹿児島みらい】
- (1) 県内各地の特産品や観光などを紹介する「ふるさとかごしま物産展」や「かごしまの暮らしを彩る器展」等の開催、ECサイト「かごしま特産品ねっと『かごいろ』」やブランドショップ（鹿児島・東京）による県産品の販売強化等【鹿児島県特産品協会】

【参考：R5年度の各イベント経済波及効果】

イベント名	観光消費額 ①	経済波及効果 ②	実行委員会 予算額	効果倍率 ②/①	参加者数
サマーナイト	12億3,213万円	18億7,295万円	1億272万円	1.52倍	150,000人
おはら祭	19億4,110万円	29億5,398万円	4,558万円	1.52倍	265,000人
鹿児島マラソン	9億1,733万円	12億8,984万円	3億4,293万円	1.41倍	9,430人

【参考 域内調達率調査結果】 上グラフ：土産物、下グラフ：飲食店

<仕入額の地域別構成比>



(n=9)

【仕入業者の所在地割合（仕入額）】



⑥ コア・プロジェクト

アフターコロナ・リカバリープロジェクト ～インバウンド～

施 策	これまでの主な取組
(1) インバウンド誘客に向けた魅力づくり	①体験型観光メニューの充実に向けた取組 ②ナイトタイムエコノミーの推進 ③誘客につながる九州内や県内の観光都市・地域との連携の充実
(2) 幅広い視点による誘客	①市場のニーズを踏まえた効果検証可能なプロモーション ②クルーズ船の経済効果拡大に向けた取組
(3) 安心して観光できる受入環境の整備	①高いスキルの観光ガイドの育成 ②観光案内所の充実 ③インバウンド向けフードダイバーシティ推進

■ メインターゲットのイメージ

区 分	メインターゲット	
	市 場	属 性
海外(インバウンド)	●香港、台湾、中国、韓国 など東アジア地域 ●タイ、ベトナム、シンガポール など東南アジア地域	●リピーター(鹿児島ファン) ●本市の桜島・錦江湾等の 自然、文化、食、暮らしなどの 資源を強みとして誘客可能な 富裕層(アドベンチャー トラベラーを含む)
	●欧米豪	

■ 市の主な実施事業 ※再掲

インバウンド観光再始動事業 [R5予算額:25,000千円]

インバウンド観光推進補助金 [R6予算額:3,500千円]

ナイトタイムエコノミー推進事業 [R6予算額:3,016千円]

西のゴールデンルート推進事業 [R8予算額:5,172千円]

広域連携によるインバウンド誘客推進事業 [R8予算額:4,723千円]

稼ぐインタープリター創出事業 [R6予算額:3,000千円]

インバウンド向け飲食店等受入体制強化事業 [R6予算額:10,000千円]

インバウンド向けフードダイバーシティ推進事業 [R6予算額:3,000千円]

■ 取組に対する評価

インバウンド誘客に向けた体験型コンテンツの造成や、インバウンド誘客につながる観光イベントの創出等に対する助成等を実施したほか、「西のゴールデンルート」等による広域連携での誘客の推進、インバウンド誘客に向けた飲食店や宿泊施設等の多言語対応や情報発信の支援、ムスリムやベジタリアンなど食の多様性に対応する新メニューの開発等を伴走支援による受入環境の整備などに取り組み、プロジェクトを推進できた。

■ 今後の課題等

- インバウンドの需要に応える体験型コンテンツや、外国語対応人材の更なる充実
- 国全体や他の地域の状況に比べて、インバウンドの宿泊数が少ない。

※ 特に九州内で北部と南部で差が顕著

【参考 インバウンド関連データ】

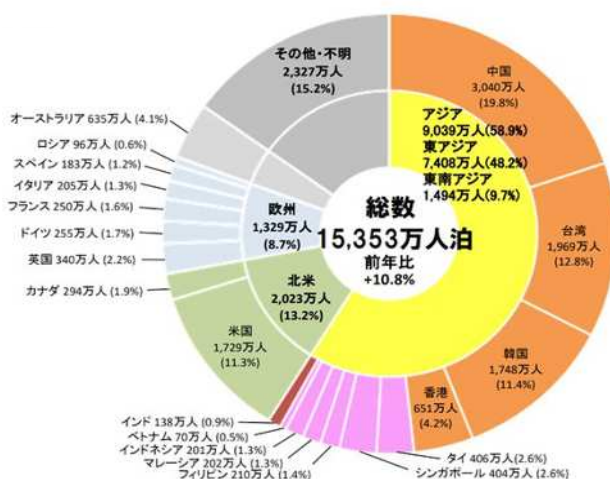
● 三大都市圏及び地方部における外国人泊延べ宿泊者比較



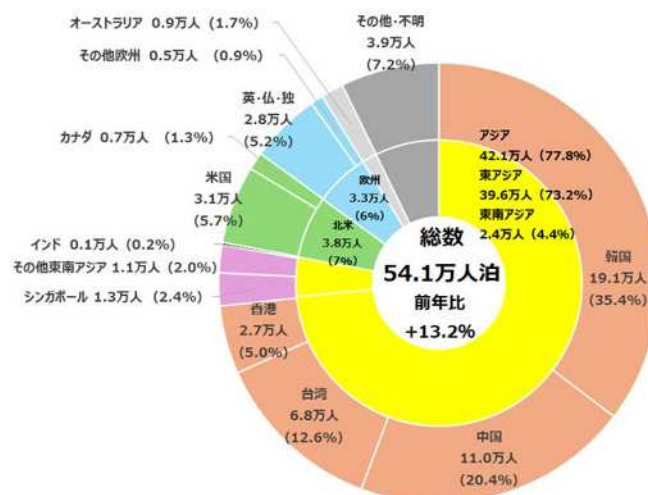
※ () 内は構成比を表している。

● 国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数

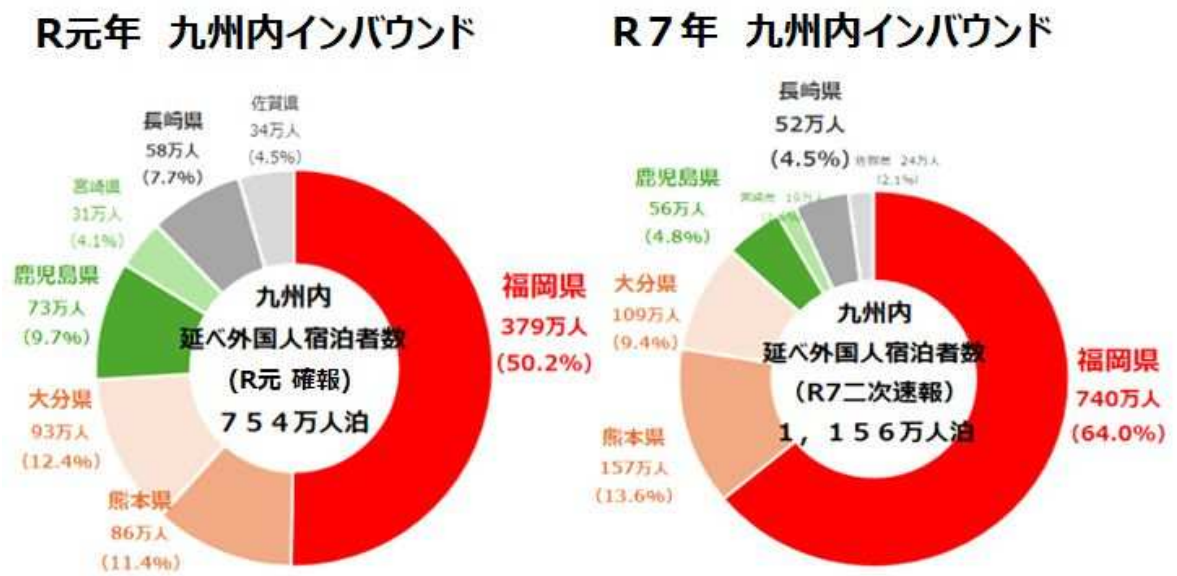
R7年 全国



R7年 鹿児島県



● 九州内インバウンドの状況比較



	韓国	中国	香港	台湾	東南アジア (3か国)	欧米豪 (欧州5か国・ 米国・豪州)
福岡県	273.6 (133.2)	102.9 (55.6)	76.5 (46.0)	132.0 (67.9)	35.3 (15.0)	41.6 (18.4)
佐賀県	8.2 (12.9)	4.1 (7.8)	2.2 (2.4)	5.0 (7.5)	0.8 (1.4)	1.5 (0.7)
長崎県	16.4 (15.9)	4.0 (8.8)	2.8 (6.1)	7.1 (9.2)	2.5 (2.3)	7.6 (6.3)
熊本県	48.5 (24.9)	21.7 (13.3)	8.8 (10.0)	46.4 (21.0)	7.6 (3.2)	10.1 (6.0)
大分県	42.0 (41.1)	9.2 (10.0)	9.5 (10.0)	22.8 (14.5)	6.4 (3.6)	7.3 (5.9)
宮崎県	6.0 (10.8)	1.2 (1.8)	0.8 (6.6)	4.1 (6.1)	1.0 (0.8)	1.7 (1.4)
鹿児島県	19.1 (14.1)	11.0 (11.3)	2.7 (22.5)	6.8 (12.9)	1.8 (1.7)	7.2 (4.2)

※ () 内はR元年の数値

※ 東南アジア3か国：シンガポール・タイ・ベトナム 欧州5か国：イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・スペイン

※データ出典：観光庁 宿泊旅行統計(2019年・年間値(確報)、2025年・年間値(速報値))

(2) 第4期観光未来戦略における数値目標の達成状況

① 総括と課題

■KGI (Key Goal Indicator: 最終的な目標指標)

	令和元年 (参考)	令和3年 (参考)	令和4年 (対前年比)	令和5年 (対前年比)	令和6年 (対前年比)	令和7年[参考値] (対前年比)	令和8年 (目標値)
経済波及効果	2,057 億円	860 億円	1,204 億円 (+344 億円)	1,650 億円 (+446 億円)	1,741 億円 (+91 億円)	-	2,200 億円

■KPI (Key Performance Indicator: KGI 達成に向けた重要指標)

	令和元年 (参考)	令和3年 (参考)	令和4年 (対前年比)	令和5年 (対前年比)	令和6年 (対前年比)	令和7年[参考値] (対前年比)	令和8年 (目標値)
観光消費額	1,495 億円	632 億円	869 億円 (+237 億円)	1,193 億円 (+324 億円)	1,235 億円 (+42 億円)	-	1,600 億円
宿泊観光客数	390 万人	216.1 万人	295.8 万人 (+79.7 万人)	377.9 万人 (+82.1 万人)	402 万人 (+24.1 万人)	-	400 万人
	日本人	340 万人	293.6 万人 (+78.3 万人)	356.2 万人 (+62.6 万人)	363.6 万人 (+7.4 万人)	-	340 万人
	外国人	50 万人	2.2 万人 (+1.4 万人)	21.7 万人 (+19.5 万人)	38.4 万人 (+16.7 万人)	-	60 万人
1人1泊あたりの観光消費額	28,800 円	24,100 円	23,600 円 (▲500 円)	25,000 円 (+1,400 円)	24,100 円 (▲900 円)	-	31,000 円
	日本人	28,500 円	23,500 円 (▲600 円)	24,600 円 (+1,100 円)	23,500 円 (▲1,100 円)	25,800 円 (+2,300 円)	30,000 円
	外国人	30,700 円	30,700 円 (+0 円)	30,700 円 (+0 円)	30,300 円 (▲400 円)	27,400 円 (▲2,900 円)	33,000 円
再訪の意向	60.4 %	62.7 %	66.6 % (+3.9 %)	71.3 % (+4.7 %)	64.8 % (▲6.5 %)	73.1 % (+8.3 %)	100 %
推奨の意向	51.3 %	53.3 %	48.9 % (▲4.4 %)	47.7 % (▲1.2 %)	48.4 % (+0.7 %)	57.4 % (+9 %)	100 %

※令和3～令和5年の外国人「1人1泊あたりの観光消費額」は令和元年数値を据え置き

※令和7年度の1人1泊あたりの観光消費額（日本人/外国人）、再訪の意向、推奨の意向は「令和7年度鹿児島市観光消費額調査・マーケティング分析報告書」より引用

※「経済波及効果」及び「観光消費額」は、小数点以下四捨五入

ア 総括評価

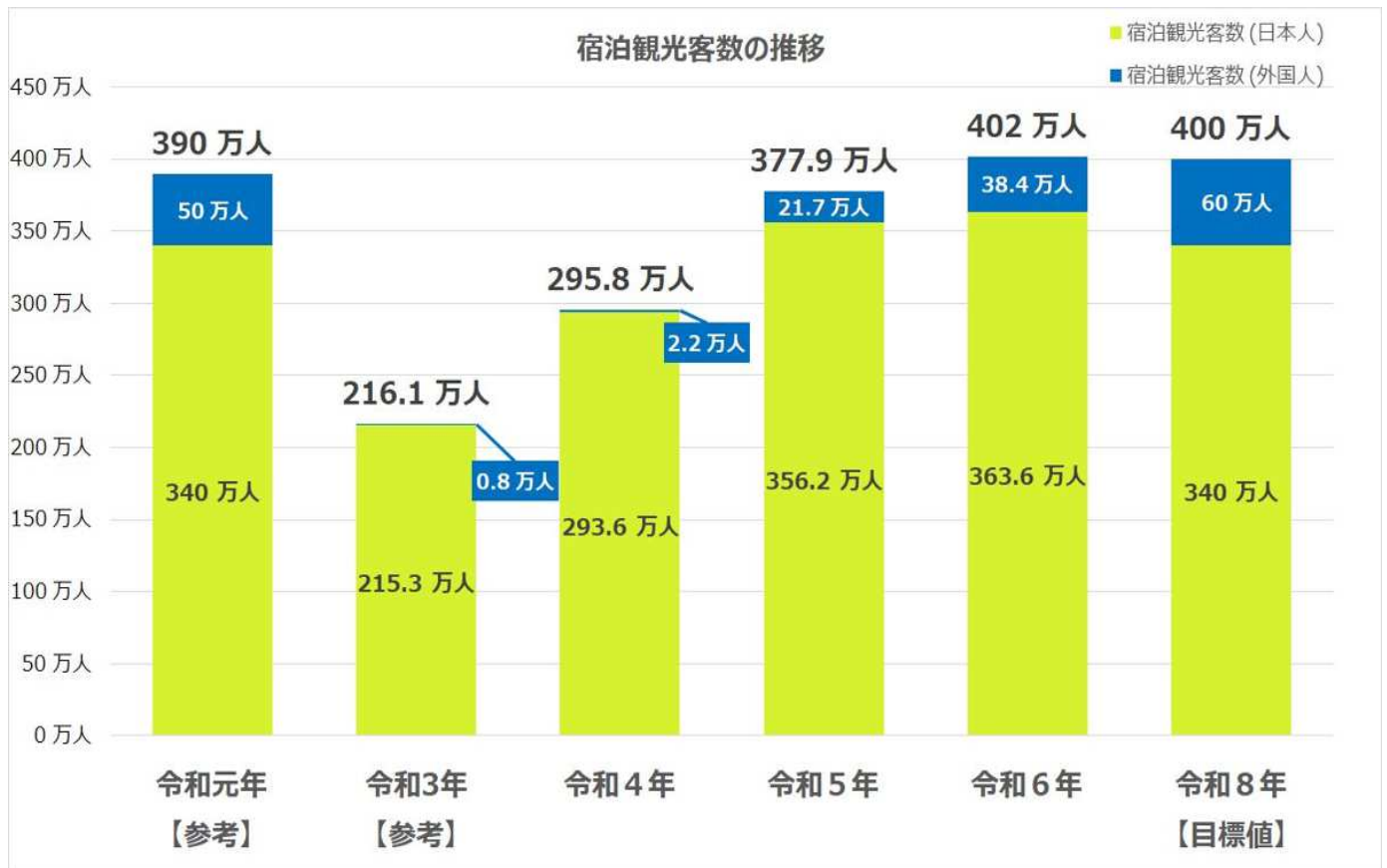
- 戦略に基づく各種事業は着実に推進されており、令和6年の宿泊観光客数が、国内観光客の下支えにより、過去最多となった平成30年（410万人）に次ぐ水準を記録したことや、再訪意向・推奨意向（令和7年）がコロナ禍前（令和元年）より高い水準を記録していることなど、国内観光客に関する指標については堅調に推移してきたと評価できる。
- 一方で、外国人宿泊観光客数や1人1泊あたりの観光消費額は目標とする水準に届いておらず、観光消費額及び経済波及効果の拡大に向けては、更なるインバウンド誘客や高付加価値化に重点的に取り組む必要。

イ 今後の課題

- 人口減による国内市場縮小や観光地間の競争の激化への対応
- ゴールデンルート（東京～大阪）や北部九州（福岡など）に集中するインバウンドの誘客に向けた取組の強化
- 本市のストロングポイントである“飲食”等を中心に、市内のコンテンツ全般の高付加価値化の推進
- インバウンドの“コト消費”の需要に対応できる体験型コンテンツの充実

② 個別の項目ごとの状況及び評価

■ 宿泊観光客数【日本人・外国人】（KPI）



【日本人宿泊観光客数】

評価

- ・ 全国的な旅行需要の回復や、『かごしま国体・かごしま大会(R5)』の開催、各種宿泊キャンペーン(全国旅行支援や市・県独自のキャンペーン等)の効果もあり、5年時点で目標値を上回る。6年も、国体のような大きなイベントは無かったものの、前年比+2%で続伸。

【外国人宿泊観光客数】

評価

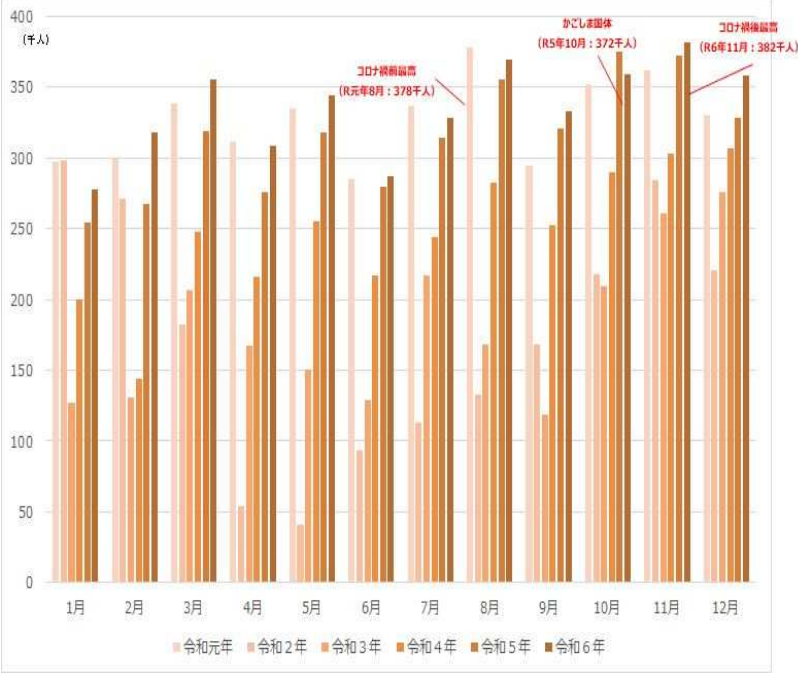
- ・ 新型コロナの5類感染症移行等もあり、4年から6年にかけて大幅に回復し、たが、当初想定していた「コロナ前水準(50万人)」には及ばず。
- ・ 回復遅れの要因としては、『人手不足等に起因する鹿児島空港国際定期便の再開遅れ(R6.12月時点で元年比47.4%)』や『インバウンドの訪問先・宿泊先が依然として三大都市圏(東京～大阪)に集中する傾向にあること』等が考えられる。
- ・ また、九州内でのインバウンドの状況を比較すると、福岡・熊本・大分といった北部九州と、鹿児島・宮崎といった南部九州地域で、インバウンドの来訪数に大きな差が生じている状況。

【関連データ】

■ 月別宿泊者数の推移（令和元年～令和6年）

(千人)

月	年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
1月		297	298	127	200	254	278
2月		299	271	131	144	267	318
3月		339	182	207	248	319	355
4月		311	54	167	216	276	309
5月		335	41	150	255	318	344
6月		285	93	129	217	280	287
7月		337	113	217	244	314	328
8月		378	133	168	282	355	369
9月		295	168	119	252	321	333
10月		352	218	209	290	375	359
11月		362	284	261	303	372	382
12月		330	221	276	307	328	358
合計		3,920	2,076	2,161	2,958	3,779	4,020



出典：鹿児島市観光統計データを基に作成

■ 国及び鹿児島県の宿泊者数の推移（令和元年～令和7年）



	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
国全体	59,593	33,166	31,778	45,046	61,747	65,906	65,348
日本人	48,027	31,131	31,346	43,396	49,972	49,460	47,561
外国人	11,566	2,035	432	1,650	11,775	16,446	17,787
鹿児島県	837	507	493	609	815	838	828
日本人	753	501	491	605	779	776	758
外国人	84	6	2	4	36	62	70

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」を基に鹿児島市作成
※ R 7 年は速報値

■ 1人1泊あたりの観光消費額【日本人・外国人】及び観光消費額（KPI）



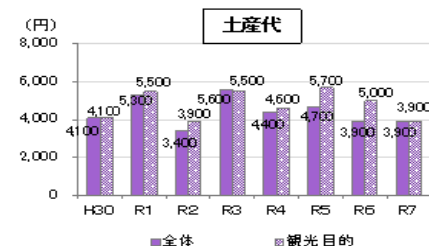
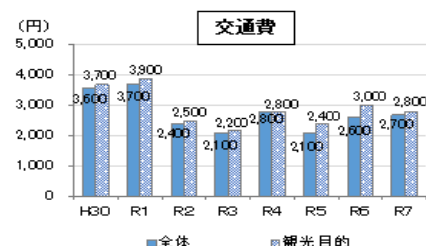
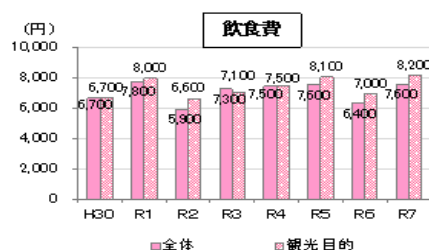
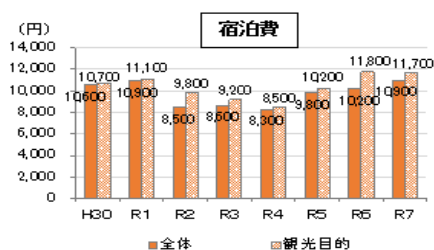
【日本人 1人1泊あたりの観光消費額】

評価

- ・ 4期戦略当初に想定していた「5年にコロナ禍前水準(28,500円)まで回復」とはならず。
- ・ 令和7年の1人1泊あたりの観光消費額は、過去5年間で最高額となった。

● 令和7年と令和元年度の消費単価の比較

- ・ 宿泊費と飲食費は令和元年度を上回る傾向にあり、交通費と土産代は令和元年度を下回る傾向。
- ・ 昨今の物価高騰により特に宿泊費と飲食費は増加する傾向にあると考えられるが、大きな伸びを示していない要因として、競争力の高い手頃な価格のホテルが多数存在することで、それぞれのサービス提供事業者努力によって単価が抑えられていることが考えられる。また、土産代の減少はECサイトの充実等が影響している可能性が考えられる。



※出典・引用：令和7年度鹿児島市観光消費額調査・マーケティング分析報告書

【外国人 1人1泊あたりの観光消費額】

評価

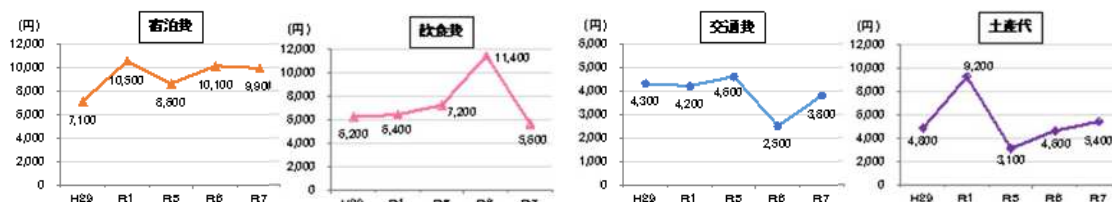
- ・ サンプル調査を再開した令和6年の数値は、コロナ前水準(30,700円)を下回り、7年の数値はさらに減少。
- ・ 主な要因としては、インバウンドの消費性向のシフト（“モノ消費”→“コト消費”）等が考えられる。
- ・ 主要3市場（台湾・中国・韓国）の消費額の内訳より、飲食や土産代を中心に、高付加価値化の余地があることが窺える。

●主要3市場（台湾・中国・韓国）における消費額の比較

各国の観光消費額全体の金額

	台湾	中国	韓国
1人1泊あたり 観光消費額全体	26,300 円	27,800 円	27,000 円

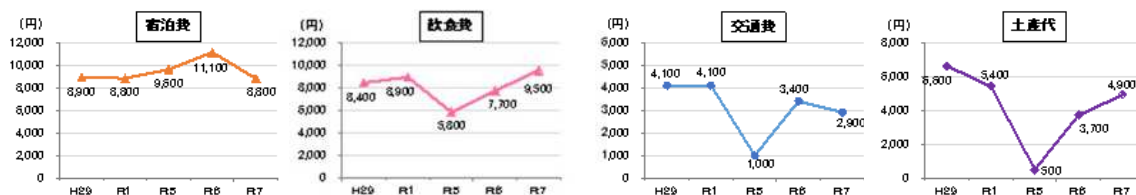
- ① 台湾市場： 中価格帯ホテルの選好により宿泊費が微減した一方、円安による購買意欲の高まりから土産代は増加した。飲食費は外食からコンビニ・スーパー利用へのシフトや節約志向の強まりにより減少した可能性がある。



- ② 中国市場： 旅行商品価格の低下や経済環境による節約志向の高まりから、交通費・宿泊費・土産代・飲食費のいずれも減少した可能性がある。



- ③ 韓国市場： 中価格帯ホテルの利用増や短期旅行の定着により宿泊費が減少した一方、円安を背景にした買い物需要の高まりから土産代が増加し、鹿児島グルメへの関心が高まったことで飲食費も上昇した可能性がある。

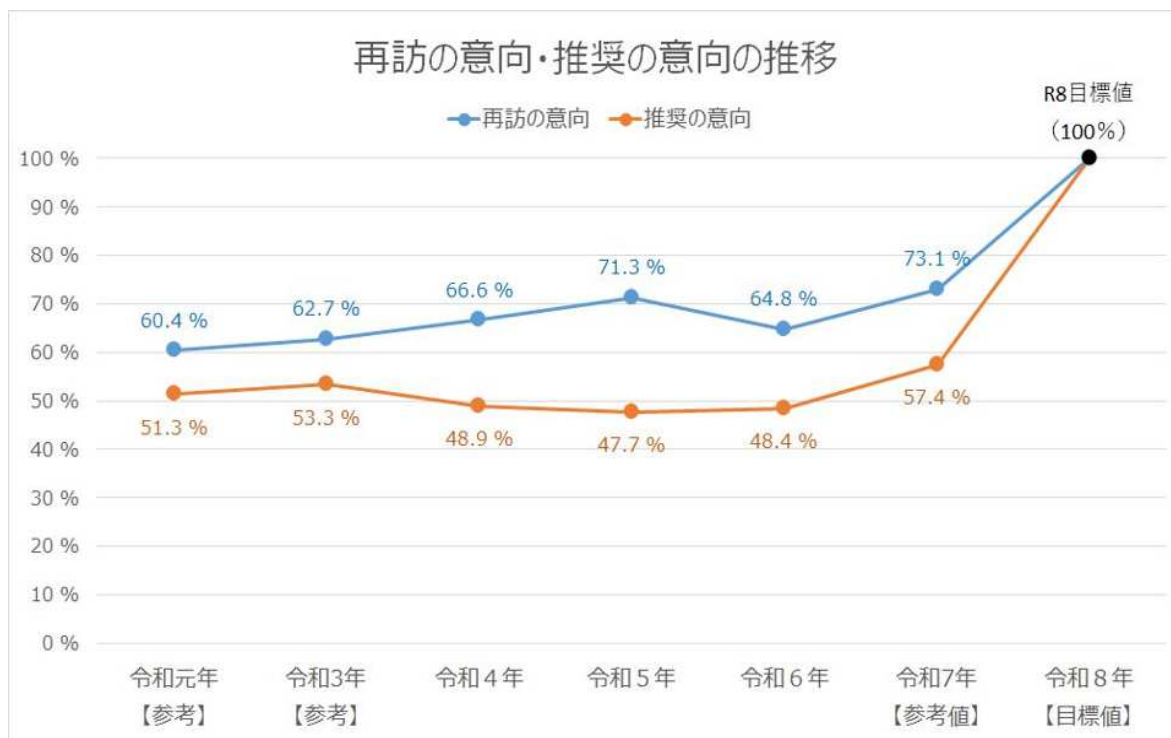


※出典・引用：令和7年度鹿児島市観光消費額調査・マーケティング分析報告書

【観光消費額】

- ・ 8年目標値（1,600億円）に対して、6年度実績が1,235億円となっており、約8割弱の進捗状況

■ 再訪の意向・推奨の意向（KPI）



評価

- ・ 再訪意向、推奨意向ともに、戦略開始当初（令和4年）及びコロナ禍前（元年）を上回る水準。
- ・ 数値については、厳しい水準での集計を行っており、7年の数値の場合、再訪意向は「何度も行きたい」と「もう一度くらいなら行ってみたい」を合わせると96.7%、推奨意向は「推奨者10点満点中9～10点」と「中立者(同7～8点)」を合わせると89.4%に達する。
- ・ 両指標とも、8年の目標値を『100%』と設定しているが、数値目標としての妥当性について検討が必要。

【鹿児島市への再訪意向（R7年）】

	調査数	何度も行きたい	もう一度くらいなら行ってみたい	どちらともいえ	は行ってみたいと	無回答
全体	n=420	73.1	23.8	2.4	0.7	-
居住地						
北海道・東北	n=19	73.7	21.1	5.3	-	-
関東	n=135	77.8	19.3	0.7	2.2	-
北陸・中部	n=47	68.1	25.5	6.4	-	-
関西	n=79	70.9	26.6	2.5	-	-
中国・四国	n=30	63.3	26.7	10.0	-	-
九州・沖縄(鹿児島県以外)	n=75	68.0	32.0	-	-	-
鹿児島県	n=35	85.7	14.3	-	-	-
年代別						
20歳代以下	n=78	75.6	23.1	1.3	-	-
30歳代	n=50	72.0	26.0	2.0	-	-
40歳代	n=74	73.0	27.0	-	-	-
50歳代	n=97	78.4	17.5	4.1	-	-
60歳代	n=73	67.1	30.1	1.4	1.4	-
70歳代以上	n=43	69.8	18.6	7.0	4.7	-
再来トライアラー(1回目)	n=127	61.4	34.6	3.1	0.8	-
数回リピーター(2回以上)	n=289	77.9	19.4	2.1	0.7	-

【鹿児島市観光の推奨意向（R7年）】

	調査数	批判者(0～6点)	中立者(7～8点)	推奨者(9～10点)	無回答
全体	n=420	5.2	37.1	57.4	0.2
居住地					
北海道・東北	n=19	5.3	42.1	52.6	-
関東	n=135	3.7	36.3	60.0	-
北陸・中部	n=47	10.6	36.2	53.2	-
関西	n=79	3.8	45.6	49.4	1.3
中国・四国	n=30	6.7	26.7	66.7	-
九州・沖縄(鹿児島県以外)	n=75	5.3	32.0	62.7	-
鹿児島県	n=35	5.7	40.0	54.3	-
年代別					
20歳代以下	n=78	2.6	38.5	59.0	-
30歳代	n=50	2.0	44.0	54.0	-
40歳代	n=74	-	29.7	70.3	-
50歳代	n=97	5.2	36.1	58.8	-
60歳代	n=73	5.5	46.6	46.6	1.4
70歳代以上	n=43	20.9	30.2	48.8	-
再来トライアラー(1回目)	n=127	6.3	37.0	55.9	0.8
数回リピーター(2回以上)	n=289	4.8	37.4	57.8	-

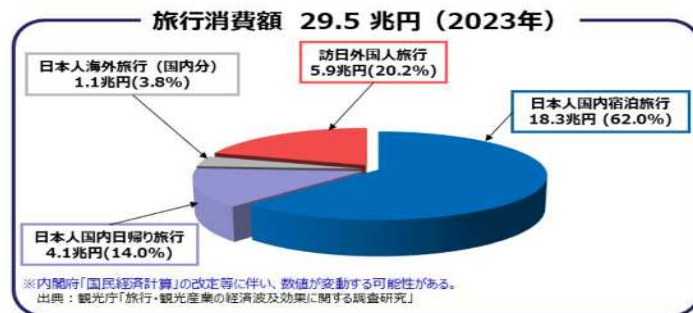
※出典・引用：令和7年度鹿児島市観光消費額調査・マーケティング分析報告書

■ 経済波及効果【KGI】



- ・ 8年目標値（2,200億円）に対して、6年度実績が1,741億円となっており、約8割弱の進捗状況

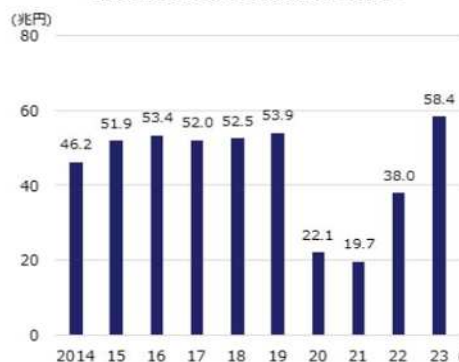
【関連データ】 観光に係る国全体の経済波及効果



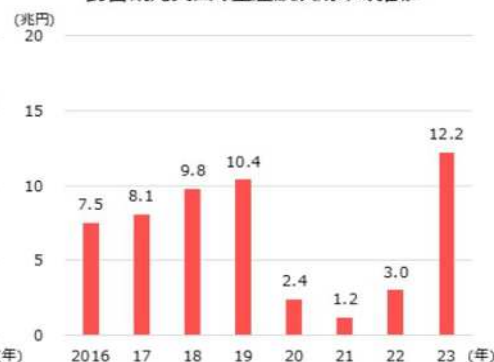
我が国経済への貢献度



旅行消費額の生産波及効果の推移



訪日観光支出の生産波及効果の推移



出典：旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究報告書（2023年版）

観光庁HP (https://www.mlit.go.jp/kankocho/tokei_hakusyo/keizaihakyukoka.html)